

2022 年度

事 業 報 告 書

2022 年 4 月 1 日から

2023 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本動物園水族館協会

第1号議案

第1章 協会の概要

I 設立年月日

1939（昭和14）年11月17日 任意団体として発足

1965（昭和40）年11月22日 文部省社会教育局（現在は文部科学省生涯学習政策局）所管の社団法人となる。

2012（平成24）年04月01日 公益社団法人へ移行

II 定款に定める目的

本公益社団法人は、動物園、水族館事業の発展振興を図ることにより、文化の発展と科学技術の振興ならびに自然環境の保護保全に貢献し、もって人と自然が共生する社会の実現に寄与することを目的としている。

III 定款に定める事業内容

1. 動物園水族館に関する調査研究事業
2. 動物園水族館に関する教育普及事業
3. 動物園水族館に関する種保存事業
4. 動物園水族館に関する支援事業
5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

IV 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

V 会員の状況

1. 会員の現状

種類	2023年3月末	前期末比較増減	備考
正会員	141名 (動物園90、水族館51)	動物園 ±0 水族館 +2	入会：AQUARIUM×ART átoa SEA LIFE 名古屋
維持会員	83団体	+5団体	

2. 正会員の異動に伴う入退会

2022年度期間中：24名退会、24名入会

VI 事務所の所在地

東京都台東区台東4-23-10 ヴェラハイツ御徒町402

第1号議案

VII 総裁・役員等に関する事項

1. 総裁に関する事項

総裁 秋篠宮文仁皇嗣殿下 1988（昭和63）年5月25日 推戴

2. 役員に関する事項

役員一覧(2023年3月31日現在)

役職	氏名	就任 年月日	役員就任 年月日	現職	手 当	執行担当・職務
理事	荒井 賢治	2022.5.26	2022.5.26	宇都宮動物園園長	無	
〃	古川 健	2022.5.26	2012.5.26	ふくしま海洋科学館館長	〃	ブロック代表理事
〃	辻本 恒徳	2022.5.26	2016.5.26	盛岡市動物公園園長	〃	安全対策委員長
〃	坂東 元	2022.5.26	2020.6.8	旭川市旭山動物園園長	〃	
〃	金子美香子	2022.5.26	2022.5.26	井の頭自然文化園園長	〃	
〃	村田 浩一	2022.5.26	2020.6.8	横浜市立よこはま動物園園長	〃	会長
〃	勝俣 浩	2022.5.26	2018.5.17	鴨川シーワールド館長	〃	
〃	高見 一利	2022.5.26	2022.5.26	豊橋総合動植物公園園長	〃	ブロック代表理事
〃	黒邊 雅実	2022.5.26	2016.5.26	名古屋市東山動物園園長	〃	副会長
〃	今津 孝二	2022.5.26	2018.5.17	アドベンチャーワールド園長	〃	ブロック代表理事 地域委員長
〃	佐藤 哲也	2022.5.26	2016.5.26	神戸どうぶつ王国園長	〃	生物多様性委員長
〃	南 心司	2022.5.26	2018.5.17	広島市安佐動物公園園長	〃	ブロック代表理事 教育普及委員長
〃	岡 秀彦	2022.5.26	2020.6.8	市立玉野海洋博物館館長	〃	
〃	中村 雅之	2022.5.26	2018.5.17	マリンワールド海の中道館長	〃	副会長
〃	椎原 春一	2022.5.26	2020.6.8	大牟田市動物園園長	〃	ブロック代表理事 総務委員長
〃	原 久美子	2022.5.26	2022.5.26	日本動物園水族館協会専務理事	有	専務理事

第1号議案

監事	錦織 一臣	2022.5.26	2020.6.8	東京都葛西臨海水族園園長	無	
〃	竹下 秀人	2022.5.26	2020.6.8	静岡市立日本平動物園園長	〃	

VIII 議決機関

総会：年1回開催、正会員で構成する。

理事会：理事16名で構成し、年数回開催する。

IX 執行機関

【会長、副会長、専務理事、執行理事】

執行委員会：委員長、副委員長、委員を置き、事業計画に基づく専門事項の計画、執行を担当する。また、各委員会の下に専門部会を置く。

- ・総務委員会（5名）：倫理、福祉、地域区分、定款・諸規定、重要な法人管理、その他の委員会に属さない事項に関すること
- ・教育普及委員会（5名）：園館職員の人材育成、動物園水族館雑誌の発行、一般に対する普及啓発活動に関すること
- ・安全対策委員会（4名）：園館施設・職員の安全及び衛生対策、災害対策、危機管理などに関すること
- ・生物多様性委員会（5名）：世界・国内戦略、資源確保、域外保全、種保存などに関すること
- ・地域委員会（5名）：地域園館の活性化、人材育成、災害・安全対策など地域間連携、加盟園館、維持会員の拡大などに関すること

地域別会議：各ブロックに代表理事をおき、ブロック内協議会、研修会、研究会等を開催する。

○関東東北・北海道ブロック ○中部ブロック ○近畿ブロック

○中国四国ブロック ○九州沖縄ブロック

広報戦略室：会長、副会長、専務理事、教育普及委員長

X 広報戦略会議：外部委員3名、顧問・会友5名、広報戦略室委員5名で構成する。

XI 事務局：専務理事、事務局長、職員5名

XII 諮問機関

顧問（4名）：専門知識を有し、理事会が推薦した者

会友（106名）：園館長歴5年以上、及び特別な功労のあった者で、理事会が承認した者

XIII 監査機関

監事（2名）：動物園から1名、水族館から1名就任

第2章 事業概要

1939（昭和14）年に任意団体として発足し、2012（平成24）年には公益法人としての認可を受けた日本

第1号議案

動物園水族館協会（以下；JAZA）は、これを契機に執行委員会制度の下に体制を強化してきた。

2013（平成25）年には、10年後の動物園・水族館がめざす姿「10年ビジョン」を策定し、いのちの素晴らしさ、儚さ、大切さを実感し、学び、伝える「いのちの博物館」の実現に向けてJAZA加盟園館が連携して様々な事業を展開してきた。その10年も2022（令和4）年で最終年を迎え、その総括と次の時代に向けた新たなビジョンを策定していかなければならない。一方、現実的な問題として、JAZAを取り巻く環境は年々厳しさを増しており、希少野生動物の保護増殖の重要性はもちろんのこと、イルカ問題、単独ゾウ問題、豚熱や高病原性鳥インフルエンザなど各種感染症問題、動物事故問題などに対応しなければならない事項も増加してきており、各執行委員会のさらなる活躍が望まれる。なかでも2022年度はWAZA動物福祉2023年目標に対処するため、動物福祉評価委員の育成に力を注いだ。次年度から始まる動物園の福祉評価の結果に期待したい。飼育動物が健康かつ快適に暮らせる環境を提供することが、我々の使命であり基本中の基本であるからだ。

2022年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、来園者数はもとに戻ってはいないが、JAZA加盟園館の相互協力のもと、全体的には大きな混乱もなく事業の運営を行うことができた。

第3章 実施事業

I 広報戦略室事業

広報戦略室は、協会の基本理念・戦略の作成、協会活動の発信等の基本戦略を更新するための事業を行う。

1. 執行体制

広報戦略室委員：会長、副会長2名、専務理事、教育普及委員長

広報戦略会議：外部委員3名、顧問・会友5名、広報戦略室委員5名

2. 事業の実施

WAZA動物福祉2023年目標、JAZA10年ビジョンの基本戦略を再検討など、新たな課題の解決が求められているが、実質的な活動はできなかった。次年度は引き続き会議を開催し、議論していく。

II 総務委員会事業

総務委員会は協会の根幹となる定款、規定等の整備、動物倫理福祉のあり方の検討、情報発信の企画調整、動物の栄養の検討、水族館にかかる調整・調査などの事業を実施した。

情報システム運営部においては、公開・非公開のHPおよびWEB会議等における情報システム部の役割の検討を行った。

倫理福祉部においては、WAZA2023年目標へ向けて動物福祉評価基準の立案と評価実施に向けた検討を行った。栄養部はSEAZA栄養ネットワークのワークショップ・運営委員会会議に部員が参加し、海外との連携及び情報収集を継続して行った。水族館部においてはイルカを含む繁殖支援事業を継続した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長、副委員長、委員3名

第1号議案

情報システム運営部：部長、部員4名

倫理福祉部：部長、部員5名

栄養部：部長、部員4名

水族館部：部長、部員5名

(2) 委員会、部会の開催

次の委員会・部会を開催し、関係事業を実施するため、議題に基づく意見交換、検討、問題解決、意思決定等を行った。

1) 第1回水族館部会

開催日：2022年6月26日 開催方法：ウェブ会議

出席者：部長、部員5名

- 議 題：① 生物多様性委員会の配偶子バンク事業“鯨類プロジェクト”について
② 会議/ワークショップの開催について
③ 動物福祉規程・動物福祉基準について
④ イルカ漁に対する協会声明の修正案について
⑤ 日本水族館協会（JAA）対応について
⑥ イルカ会議の開催について

2) 第1回情報システム運営部会

開催日：2022年6月27日 開催方法：ウェブ会議

出席者：総務委員長、情報システム運営部長、情報システム運営部員3名、事務局長

- 議 題 ①情報システム運営部メンバーを確認
②公開HPについて計4か所の意見交換
③「会員園館からのお知らせ」について
④「生きもの学びネット」について
⑤「動物検索」について
⑥「応援してね、動物たちは元気です」について
⑦Zoom+オンラインホワイトボード(Miro)の利便性検証
⑧その他

3) 第1回倫理福祉部会

評価員に関するワイルド・ウェルフェアとの打ち合わせ開催

開催日 2022年7月6日 開催方法：ウェブ会議

出席者 Wild Welfare2名、総務委員長、倫理福祉部長、倫理福祉部員4名、専務理事、事務局長、通訳

- 議 題 ①JAZA 専務理事の交代について
②動物福祉評価員の研修の進め方について
③研修の方法について
④事前に必要な資料の確認

4) 第2回倫理福祉部会

動物福祉基準に係る打合せ開催

第1号議案

開催日 2022年9月8日 開催方法：ウェブ会議
出席者 Wild Welfare2名、倫理福祉部長、倫理福祉部員5名、専務理事、事務局長、通訳
議 題 ①動物福祉チェックリストの内容について
②動物福祉評価員の育成トレーニングについて

5) 第1回総務委員会

開催日：2022年9月9日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長、副委員長、委員3名、専務理事、事務局長
議 題： ①各部会報告及び検討課題
②2023年のWAZA加盟園館10施設の動物福祉評価について
③来年度以降の総務委員会の構成について

6) 第2回情報システム運営部会

開催日：2022年9月21日 開催方法：ウェブ会議
場 所：広島市安佐動物公園（ZOOM併用によるハイブリッド開催）
出席者：総務委員長、情報システム運営部長、情報システム運営部員4名、事務局長
議 題： ①「会員園館からのお知らせ」について
②「生きもの学びネット」について
③「応援してね、動物たちは元気です」について
④ 生きもの学びネットの活用促進について
⑤ その他

7) 第3回倫理福祉部会

開催日：2022年10月11日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長、部長、部員4名
議 題：①動物福祉評価員の育成トレーニングについて
②2023年のWAZA加盟園館10施設の動物福祉評価について

8) 倫理福祉部とWild Welfareとの打ち合わせ

開催日：2022年10月25日 WAZA会議中
出席者：部長、部員1名
議 題：WAZA動物福祉2023年目標達成に向けた動物福祉評価研修の内容確認、
（監査）の手順、他の地域協会との相互レビュー等実施スケジュール等の検討

9) 第2回水族館部会

開催日：2022年11月14日
場 所：東京海洋大学 品川キャンパス
出席者：部長、部員5名、事務局長
議 題： ①シロワニの小笠原の調査
②イルカ類繁殖支援事業
③ラッコ保全プロジェクト
④バタンドルフィンセンターのミナミバンドウイルカ視察について
⑤今後の会議計画

10) 第4回倫理福祉部会

第1号議案

開催日：2022年11月28日 開催方法：ウェブ会議

出席者：Wild Welfare、委員長、部長、部員4名

議 題：動物福祉評価員研修会打ち合わせ

11) 第1回栄養部会

開催日：2023年1月24日 開催方法：ウェブ会議

出席者：部長、部員4名

議 題：①栄養素データベース化について

②栄養関連資料（文献）のデータベース化について

③栄養シンポジウム次回案について

④報告事項（マレーグマ計画推進会議での研究調査結果報告、SEAZA,SNN出張報告、オリエンタル酵母工業株式会社からの依頼について等）

2. 事業の実施

(1) 情報システム運営部事業

- 1) 海外地域協会の動向収集
- 2) 飼育動物検索ページの情報更新
- 3) いきもの学びネットの利用促進
- 4) 「会員園館からのお知らせ」の利用促進
- 5) 公開HPの表現を随時更新

(2) 倫理福祉部事業

- 1) 動物福祉評価にかかわる各種規程等の検討(Wild Welfareとの意見交換を含む)
- 2) 動物福祉評価員研修のカリキュラム策定と研修実施

① 第1回東京会場

開催日：2022年12月5日～6日

② 第2回京都会場

開催日：2022年12月8日～9日

- 3) SEAZA 動物福祉委員会との動物福祉相互チェック

開催日：2023年3月28日 開催方法：ウェブ会議

(3) 栄養部事業

- 1) SEAZA 栄養ネットワーク等への参加
- 2) 動物の栄養に関する情報収集
- 3) SEZA アンケート結果のマレーグマ計画推進会議での情報共有
- 4) 飼料に関する情報提供

(4) 水族館部事業

- 1) 繁殖支援事業

イルカ類採精ワークショップの開催 2022年11月14日

- 2) 鯨類プロジェクト(配偶子バンク事業)

- 3) ラッコ保全プロジェクト

SAP（ラッコ親善大使プロジェクト）からアラスカシーライフセンターの保護プロジェクトへ取り組みを変更

第1号議案

- 4) 第5回イルカ会議の開催 2023年2月22日
- (5) その他
 - 1) 協賛に関する事項
後援名義等の申請に関する審査…後援33件

III 教育普及委員会事業

本委員会を構成する教育研修部・普及啓発部・学術研究部の各部において部会会議を開き、令和4年度事業に関する準備・実施等に関する討議・打ち合わせを経て、諸事業が遅滞なく実施されるように努めた。

環境省との「生物多様性保全の推進に関する基本協定」に基づく事業や取り組み等には積極的な関与を継続し、(公社)日本動物園水族館協会の存在意義や保全活動内容を社会に広く周知するために努力した。「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」の後継事業である「2030生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)」への協力、外来種被害防止に資する事業への協働をすすめた。

調査研究委員会設置に向けた調整を進めた。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長1名 副委員長1名 委員3名
教育研修部：部長1名 部員5名
普及啓発部：部長1名 部員5名
学術研究部：部長1名 部員7名

(2) 委員会、部会の開催

1) 第1回教育普及委員会

開催日：2022年6月30日 開催方法：ウェブ会議

出席者：委員長他6名

議 題：①各部会事業の現状と課題について②上級試験について③ワークショップについて④いきもの学びネットについて⑤一般市民への普及啓発について⑥動物園水族館雑誌の発行について⑦技術者研究会について⑧研究成果の表彰について⑨調査研究委員会について⑩動物取扱業の取得要件に対する対策について⑪動水誌顧問の交代について

2) 教育研修部第1回会議

開催日：2022年7月8日 開催方法：ウェブ会議

出席者：委員長他8名

議 題：①上級試験について②一般試験について③試験までのスケジュールを確認

3) 教育研修部第2回会議

開催日：2022年8月8日 開催方法：ウェブ会議

出席者：委員長他7名

議 題：①理事会提出案(上級試験実施概要)について②上級試験について③一般試験について④今後のスケジュールについて

4) 教育研修部臨時会議

開催日：2022年8月23日 開催方法：ウェブ会議

第1号議案

- 出席者：委員長他8名
議 題：①理事会報告後の調整②試験実施要綱について③上級試験について
- 5) 教育研修部第3回会議
開催日：2022年9月12日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長他7名
議 題：①上級試験について②一般試験について③ハンドブックの電子化について
④今後のスケジュールについて
- 6) 教育研修部臨時会議
開催日：2023年1月10日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長他3名
議 題：試験実施に係るコロナ対応について
- 7) 教育研修部第4回会議
開催日：2023年2月3日 飼育技師試験（一般・上級）採点及び評価
場 所：スマートレンタルスペース上野御徒町
出席者：委員長他8名
議 題：①飼育技師試験（一般・上級）の総括について
②2023年度教育研修部事業計画について
③改訂版 新・飼育ハンドブック電子化について
- 8) 普及啓発部会第1回会議
開催日：2022年9月30日
場 所：JAZA事務局
出席者：委員長他7名
議 題：①2022年度の事業について
②参加型研修会について
- 9) 普及啓発部第2回会議
開催日：2023年3月13日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長他8名
議 題：2022年度事業について
- 10) 学術研究部第1回会議
開催日：2022年10月14日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長他9名
議 題：①投稿論文審査の進捗状況
②今後の掲載論文、発刊進行予定について
③技術者研究会について
- 11) 学術研究部臨時会議
開催日：2022年10月22日 開催方法：ウェブ会議
出席者：委員長他9名
議 題：①投稿者チェックシートの確認
②ABS問題の注意喚起について

第1号議案

12) 学術研究部第2回会議

開催日：2023年2月18日

出席者：委員長他10名

議 題：①動物園水族館雑誌投稿論文進捗状況について②今後の掲載論文、発行進行予定について③古賀賞、技術研究表彰について④技術者研究会について⑤ABS問題の周知について⑥研究倫理、動物福祉審査について

2. 教育研修部事業

(1) 飼育技師認定試験の実施 45会場

2023年1月13日13:00~15:00

動物270名（内12名欠席）合格予定者210名 合格率81.4% 平均点74.3

水族136名（内5名欠席）合格予定者103名 合格率78.6% 平均点76.6

* 2023年2月20日の飼育技師資格認定委員会で承認

(2) 飼育技師上級試験の実施

2023年1月13日10:00~12:00 * 9/1に事前告知

受験者271名（内9名欠席）合格予定者98名 合格率37.4% 平均点65.7

* 2023年2月20日の飼育技師資格認定委員会で承認

* 合格率は37.4%と低いが、平均点は65.7点であることから、多くの受験者が1, 2問の不正解で不合格となっている。今後は、試験問題の内容を評価し、合格率を上げるよう検討する。

(3) 動愛法における動物取扱責任者選任要件について

環境省との連絡調整会議（2023年3月29日）において、JAZAの飼育技師資格を環境省が各自治体に提供する動物取扱責任者選任要件資格リスト資料に掲載したことを確認した。

3. 普及啓発部事業

(1) 動物園・水族館参加型研修会（ワークショップ）

動物園

2023年1月24~25日 大牟田市動物園担当

テーマ：オンライン教育プログラムの開発と工夫

講師：冨澤奏子

参加者：19園館 20名

水族館

2022年12月15~16日 のとじま臨海公園水族館担当

テーマ：施設・業務の裏側を素材としてSDGsを伝える教育プログラムの開発

講師：神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部 石井雅章教授

参加者：18園館 22名

(2) JAZA主催の動物愛護に関する標語募集

第47回動物愛護に関する標語コンクール中央審査実施

1)開催日：2022年8月18日(水)12:00~15:30

2)場 所：協会事務局会議室

3)審査員：4名（環境省動物愛護管理室長 野村環、演芸家 江戸家小猫、成城大学法学部教授 打越綾子、会長 村田浩一）

第1号議案

4)中央審査対象標語 157点(参加園館：40園館、応募総数：3,317点)

(3) 環境省主催のイベントへの参加

動物愛護週間中央行事の視察(2022年10月1日)

(4) サバ州保全活動プロジェクトへの協力

プロジェクトチーム会議に参加して、普及啓発部として協力できる可能性について検討中。

4. 学術研究部事業

(1) 技術者研究会の開催

第67回水族館技術者研究会

開催日：2022年11月28~29日 栃木県なかがわ水遊園担当

参加者：37園館 72名、口頭14演題、話題提供2題

第48回海獣技術者研究会

開催日：2022年12月14日 宮島水族館担当

参加者：38園館 49名、口頭14演題、話題提供4題

第70回動物園技術者研究会

開催日：2023年1月18~20日 広島市安佐動物公園担当

参加者：77園館(動66、水11) 115名、口頭32演題、ポスター20演題

(2) 動物園水族館雑誌の編集作業

審査待ち4件、投稿待ち10件、受理原稿7件

(3) 古賀賞表彰

「中央アルプスにおけるライチョウの野生復帰事業への取り組み」

(生物多様性委員会種保存事業部ライチョウ生息域外保全協力園館)

「ウミガメ類の飼育下繁殖を通じた生態および保全研究」

(沖縄美ら海水族館 海獣課)

(4) 飼育技術者表彰論文の推薦 2件が理事会で承認された

原著「バンドウイルカ6例の出産前における乳裂間隔と直腸温の変化」

大島由貴、日比野真大、横田匠他、堂崎正博、阿久根雄一郎、栗田正徳(名港水)(掲載号
第63巻4号)

原著『哺乳類の2色覚体験ツール「キツネめがね」の開発』

野田亜矢子、畑瀬 淳(安佐)(掲載号 第64巻1号)

IV 安全対策委員会事業

安全対策部、災害対策部、感染症対策部が、事故や災害、感染症等に対する事前の準備と予防対策、発生時の対応などについて、会員園館への情報発信等の事業を行った。

安全対策部は、安全な飼育や施設管理のための会議開催、事故防止のための情報提供などを行った。

災害対策部は、台風等による大雨被害や地震被害等の情報収集を行い情報共有した。

感染症対策部は、国内外での感染症事例について、会員園館への情報共有と注意喚起を行った。

1. 執行体制

(1) 構成

第1号議案

委員会：委員長1名 副委員長1名 委員3名

安全対策部：部長1名 部員5名

災害対策部：部長1名 部員6名

感染症対策部：部長1名 部員5名

2. 安全対策部事業

(1) 各種会議の開催準備を行ったが、新型コロナウイルス感染防止のため開催中止またはオンライン開催とした。

(2) 第32回日本動物園水族館設備会議

開催日：2022年10月19日~20日 開催方法：ハイブリッド会議（センテラス天文館；かごしま水族館担当）

出席者：43園館64名、維持会員20社46名、JAZA派遣2名

研究発表：6題、宿題調査報告1件。全体討議4件、ポスター発表8件

(3) 第34回大型動物麻酔研究会

開催日：2022年10月25日 開催方法：ウェブ会議（沖縄こどもの国担当）

出席者：20園館33名、オブザーバー参加11園館13名、安全対策委員長、

研究発表：11題、その他懇談事項

(4) 第31回ゾウ会議

開催日：2022年12月5日~6日 開催場所：周南市文化会館（周南市徳山動物園担当）

出席者：38園館74名、JAZA派遣2名

研究発表：17題、ポスター発表3題、アンケート報告、全体討議1題、ワークショップ1題、懇談事項

(5) 動物飼育における安全対策：今年度は人身事故の発生確認はなかったものの、検討課題である「安全対策ガイドライン」策定に向け、現場検証から得られた知見や過去の事故発生例と対策を参考とし、今年度中を目途に取りまとめている。

(6) 飼育動物による職員の負傷事故の他、入園者の負傷事故、大型動物輸送における死亡事故、動物の逸走事例等も安全対策の対象とし、会員園館における情報共有と再発防止のための注意喚起等を行うものとして、その実施と方法について検討している。事例：キリン輸送中の死亡事故、ふれあいにおけるカピバラによる入園者の負傷事故、クモザルの逸走事例

3. 災害対策部事業

(1) 災害発生への対応：災害発生と共に被害状況等の情報収集を行った。一部に臨時休園館はあったものの、いずれも大きな被害は無かった。

(2) 対応した主な災害：2022年5月22日茨城県沖地震、6月26日熊本地方地震、7月5日台風4号による大雨等（九州他）、7月14日大雨等（九州～東北、埼玉豪雨）、7月24日鹿児島桜島噴火、8月4日新潟山形地方豪雨、9月19日台風14号による大雨（九州）、10月2日宮崎地方地震、10月21日福島県沖地震

(3) 環境省水鳥救護研修センター運営協議会（9月）オンライン開催出席により情報収集した。

(4) 災害時救援活動の連携体制：災害発生時のより緊密な救援体制確立を目指し、物資運搬等支援のための運搬方法や合同訓練等について調査検討を進めている。

4. 感染症対策部事業

第1号議案

- (1) 国内で発生し拡大等が懸念される感染症（新型コロナウイルス感染症、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱）について情報収集し、会員園館への情報共有と注意喚起を行った。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について、国等からの情報を会員園館へ随時提供した。
- (3) 高病原性鳥インフルエンザの例年よりも早期の確認と多くの野鳥や養鶏での発生を受け、会員園館への注意喚起を行った。（令和4年9月30日）
- (4) アドベンチャーワールドでの高病原性鳥インフルエンザ発生（11月10日）に対応し、会員園館への情報提供と注意喚起を行った。

V 生物多様性委員会事業

昨年度同様に生物多様性委員会の活動はCOVID-19第7波の影響を受け、各種事業全般に引き続き遅れが生じているが、オンライン開催を併用し委員会、関係官庁会議他各種会議等を積極的に行ない、できる限り事業調整と作業推進を図った。

3年振りに開催した生物多様性委員会三部合同会議では意思の疎通、情報共有ができた。実際の行動計画では7波による影響があるものの、昨年よりは推進できたものと思われる。保全分野では飼育下で繁殖したライチョウの中央アルプスでの野生復帰に成功したことが特筆される。

国際連携については、各地域での活動の制限が緩められ多くの国際会議が開催されているがその発信、情報収集に努めた。

鯨類プロジェクトについては、プロジェクト推進園館の担当者を中心に活動を開始し、新たに設置した専用のタンクに人工採精したバンドウイルカ、カマイルカの精液の保存を開始した。

COVID-19の影響で延期されていた経済産業省との連携会議を8月に開催したが、会員の動物の輸出入を円滑に行うための議論ができた。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長1名、副委員長1名、委員3名、外部委員2名

国際保全事業部：部長、部員2名

保全戦略部：部長、副部長、部員6名

種保存事業部：部長、部員12名

作業部会：類別事業調整者、種別計画管理者・個体群管理者、専門技術員

(2) 委員会、部会の開催

次の委員会・部会を開催し、関係事業を実施するため、議題に基づく意見交換、検討、問題解決、意思決定等を行った。

1) 第1回生物多様性委員会開催

開催日：2022年4月26日～4月27日

場 所：東京都恩賜上野動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：4月26日：17名（委員長、副委員長、国際保全事業部長、保全戦略部長、種保存事業部長、種保存事業部員（類別事業調整者）12名）

4月27日：12名（委員長、副委員長、国際保全事業部長、保全戦略部長、種保存事業部長、種保存事業部員（類別事業調整者）5名、事務局2名（一部出席：専務理事、事務局長））

第1号議案

議 題：① 令和3年度種保存事業の進捗状況評価について② 令和4年度事業の執行計画について
③その他

2) 第2回生物多样性委員会（三部合同会議）開催

開催日：2022年6月13日～14日

場 所：名古屋港水族館（オンライン会議システムも併用）

出席者：27名（委員長、副委員長、国際保全事業部3名（部長、部員2名）、保全戦略部6名（部長、部員5名）、種保存事業部12名（部長、部員11名）、外部委員1名、事務局長、事務局員2名、その他に種別計画管理者数名出席あり）

議 題：①令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画の概要報告② 各部会開催および報告③令和4年度事業の課題について④ZIMS for Studbooks の紹介⑤ 課題討論「野生動物保全と動物福祉の葛藤」

3) 第3回生物多样性委員会

開催日：2022年11月13日～14日

場 所：神戸どうぶつ王国（オンライン会議システムも併用）

出席者：9名（生物多样性委員長、国際保全事業部長、保全戦略部長、種保存事業部長、一部出席5名（会長、事務局長、生物多样性副委員長、事務局員2名））

議 題：①業務執行上の課題の整理と会長及び事務局との協議②令和4年度事業の実施状況と今後の予定の確認③令和5年度事業計画の実施計画の検討④その他

4) 第1回保全戦略部会

開催日：2022年8月29日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：52名（生物多样性委員長、生物多样性副委員長、保全戦略部長、保全戦略部員1名、種保存事業部員（類別事業調整者）5名、配偶子バンク事業作業部会1名、生物多样性委員会外部委員1名、オブザーバー（会員園館）41名）

議 題：①動物園水族館繁殖研究アライアンスと連携した配偶子バンク事業の実施について

5) 第2回保全戦略部会

開催日：2023年1月31日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：13名（生物多样性委員長、生物多样性副委員長、国際保全事業部長、種保存事業部長、保全戦略部長、保全戦略部員7名、生物多样性委員会外部委員1名）

議 題：①2023年度事業計画の実施計画及び業務分担等について

2. 国際保全事業部

(1) 国際的な連携、協働を要する展示生物の継続的確保や保全への取り組みに関する事項

1) 国際会議への参加

- ① スペインのカナリア諸島で10月に開催された保全計画専門家集団(CPSG)年次会議ならびに世界動物園水族館協会(WAZA)年次総会に国際保全事業部員が参加し、情報収集を行った。
- ② アメリカ合衆国のロングビーチで4月に開催されたTAG Chairs 会議への参加を目指したがCOVID19の影響により実現できなかった。
- ③ GSMP 会議が開催された場合に当該種の計画管理者を派遣する予定であったが、2022年度に

第1号議案

GSMP 会議は開催されなかった。

2) アジア及びその周辺地域でのネットワーク構築・サポート事業

- ① インドネシアのバリ島で11月に開催されたSEAZA総会に生物多様性委員長が参加し、情報収集を行った。
- ② 台湾の台北で11月に開催された、バイオリソースバンク・ネットワーク会議（アジア地域連携会議）に生物多様性副委員長と保全戦略部員が参加し、情報の収集ならびに共有を行った。

3) マレーシア・サバ州との生物多様性保全に関わる連携事業

- ① 第1回の国内関係者会議を12月に名古屋で開催した。

会議名：第1回サバ州生物多様性保全推進プロジェクトチーム会議

開催日：2022年12月23日

場 所：名古屋市東山動植物園

出席者：13名（副会長1名、教育普及委員長、生物多様性委員長、生物多様性委員会国際保全事業部長、会員園館職員5名、外部団体1団体3名、事務局長）

議 題：i これまでのマレーシア・サバ州との取組・サバ州の現状について ii 事業内容の確認・組織内編成など iii 活動予算及び獲得計画について iv 今年度からの実施予定事項の検討 v その他

4) 飼育下個体群管理のための飼育動物個体情報の管理共有推進

- ① Species360 との個別協議を WAZA 会議の開催時に併せて実施し、日本語翻訳内容の精度向上を依頼し、今後協力して実施することとなった。
- ② 9月に神戸で、12月に上野で開催された個体群管理講習会にあわせて ZIMS for Studbooks の使用方法説明講習を実施した。

第1回個体群管理講習会開催

開催日：2022年9月29日～30日

場 所：神戸どうぶつ王国

出席者：16名（講師3名（国際保全事業部長、保全戦略部員1名、ヤブイヌ個体群管理者）、受講者13名（種別計画管理者（有袋類その他2名、霊長類3名、食肉類3名、海獣類3名、猛禽類1名、ペンギン・チドリ類1名））

議 題：i ZIMS for studbooks の操作方法 ii 計画立案に必要な知識と与件整理の仕方について iii 3グループに分かれての計画立案ワークショップ

第2回個体群管理講習会開催

開催日：2022年12月13日～14日

場 所：東京都恩賜上野動物園

出席者：21名（講師4名（生物多様性委員会保全戦略部長、生物多様性委員会保全戦略部員1名、生物多様性委員会国際保全事業部員1名、ヤブイヌ個体群管理者）、受講者17名（種別計画管理者（霊長類1名、食肉類3名、海獣類3名、有蹄類4名、猛禽類1名、小型鳥類3名、コウノトリ・キジ・ツル類2名））

議 題：i ZIMS for studbooks の操作方法 ii 計画立案に必要な知識と与件整理の仕方について iii 3グループに分かれての計画立案ワークショップ

5) 海外情報の会員周知

- ① 東南アジア動物園協会の ICAP 会議開催情報など、各種海外情報を関係者に周知した。

第1号議案

② 情報の翻訳委託を実施した

(2) 正会員所属園館の展示生物の収集に関する情報提供、助言及び支援に関すること（ただし、保全戦略部に属する業務を除く）

1) 経済産業省との連絡調整会議

8月17日に経済産業省本庁舎で開催し、今後も定期的に開催することを確認した。

また、この会議で経済産業省に対して行った要望に対して回答を得て、会員園館に周知した。

2) 会員園館からの問い合わせ等に対する対応を行った。

(3) 種保存事業の実施に係る助言および支援に関すること（ただし、保全戦略部に属する業務を除く）

1) 類別事業調整者、種別計画管理者への支援および助言を実施

海外からの個体の入手に関する調査を実施（マレーグマ）

海外の類別事業調整者、種別計画管理者から国内の関係者への連絡を受け、橋渡しを実施

2) その他事業

必要に応じて実施

(4) その他国際保全業務に関する事項

部員の欠員に対して1名の補充を行った。引き続き補充を進める必要がある。

3. 保全戦略部

(1) 日本の動物園水族館の生物多様性保全戦略に関する事項

1) WAZA の世界動物園水族館保全戦略・福祉戦略等を踏まえ、委員会の各事業における戦略的取組を支援する。

・6月の三部合同会議で類別事業調整者を対象として世界動物園水族館保全戦略・福祉戦略の解説や保全と福祉を両立させる上での課題に関する講演を実施（保全戦略部長）

2) 「JAZA10年ビジョン」の期間満了(2023年)を見据え次の10年に向けた戦略の検討を行っている。

(2) 生息域内・域外の統合された保全への取り組みに関する事項

1) 生物多様性保全の推進に関する基本協定書に基づく取り組みの着実な推進

① 環境省からの受託業務

a) ツシマヤマネコの飼育下繁殖・飼育管理等に係る検討業務 * 環境省

・九州地方環境事務所から「令和4年度ツシマヤマネコ飼育下繁殖及び飼育管理に係る検討委託業務」を受託し、仕様書に基づき、7月に長崎県対馬市内で第1回飼育管理検討会議と研修会を開催し、9月に栃木県那須町内で飼育管理検討会議を開催した。

・会議での検討結果に基づいて「令和4年-5年ツシマヤマネコ飼育下繁殖（移動）計画」を策定。10月中旬に環境省のツシマヤマネコ生息域外保全委員会に計画案を提出し、承認を得たため、11月上旬から個体の移動を行い、各飼育園館で計画に沿った繁殖に取り組む。

b) 希少野生動物の生息域外保全検討業務) * 環境省

ア) ライチョウの飼育管理検討業務及び野生復帰

・信越自然環境事務所から「令和4年度ライチョウの野生復帰及び生息域外保全検討実施委託業務」を受託し、仕様書に基づき10月に第1回飼育管理検討会議を上野動物園で開催した。

・8月10日に那須どうぶつ王国及び長野市茶臼山動物園で繁殖したライチョウ計22羽（雄成

第1号議案

鳥1羽、雌成鳥5羽、雛16羽)を中央アルプスに移送し、駒ヶ岳周辺に設置したケージを用いて設置した野外ケージでの馴化を経て、8月12日～14日に全羽を放鳥した。

イ) トゲネズミ類の飼育管理検討業務

ウ) ミヤコカナヘビの飼育管理検討業務

エ) スジシマドジョウ類の飼育繁殖技術開発

- ・トゲネズミ類、ミヤコカナヘビ、スジシマドジョウ類については、一括して本省から「令和4年度希少野生動物の生息域外保全検討実施委託業務」を受託し、業務を実施した。
- ・トゲネズミ類については、仕様書に基づき、10月に奄美大島で飼育管理検討会議を開催した。本会議での検討結果に基づき、繁殖計画を策定し、各飼育園で計画に沿った繁殖に取り組む予定。
- ・ミヤコカナヘビについては12月に会議開催。
- ・スジシマドジョウ類については、近縁種での繁殖技術を有する琵琶湖博物館の協力を得て、7月3日～4日にかけて宮津エネルギー研究所水族館でタンゴスジシマドジョウの人工採卵を試みたが、全て死卵となってしまった。
- ・本業務の仕様書では、種別の飼育管理検討会議のほか、ツシマヤマネコ、ライチョウ、ミヤコカナヘビ、アマイトゲネズミ、スジシマドジョウ類の計5種類の関係者・各実施担当者による連絡会議を2回開催することとされており、第1回の連絡会議を6月に上野動物園で対面とオンラインを併用して開催した。

c) 環境省等委託事業の報告書作成

d) ライチョウ備品等減価償却費

- ・JAZA事務局で対応

② 受託業務以外の取り組みの実施

a) 小笠原産陸生貝類(カタマイマイ属など)

- ・東京都の4園(上野、多摩、葛西、井の頭)でカタマイマイ、アナカタマイマイの飼育繁殖を継続しており、関係者との連絡会議にはJAZAとして出席することとしているが、未開催。

b) 環境省担当官との連絡調整等

- ・必要に応じてメール、電話、オンラインでの打ち合わせを実施している。

2) IPPM-OWS(コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル)との連携

- ・保全戦略部員がIPPM-OWSの生息域内保全副部会長を務めており、10月に域内保全作業部会関係者会議、12月に域内保全作業部会に出席。
- ・総会に出席。
- ・HPの維持管理経費の一部負担することになっているが未執行。

(3) 正会員所属園館の展示生物の収集に関する情報提供、助言および支援に関する事項(ただし、国際保全事業部に属する業務を除く)

1) 正会員所属園館からの要望に応じて随時適切に対処

- ・この間に特段の要望、問い合わせ等はなく、実績なし。

(4) 種保存事業の実施に係る助言及び支援に関する事項(ただし、国際保全事業部に属する業務を除く)

1) 個体群管理ハンドブックの制作

- ・現在作成中。

第1号議案

- 2) 個体群管理講習会（年2回）再掲
 - ・9月にPMxを活用した種管理計画の策定方法の講習を神戸どうぶつ王国で開催。
 - ・12月に上野動物園でも同一内容の講習会を開催予定。
- 3) 種保存事業の推進のための各種共同研究の実施
 - ・種管理計画に基づくホルモン測定等について、岐阜大学応用生物科学部動物保全繁殖学受託検査により実施。今年度はマサイキリン、ミナミシロサイ、ヒガシクロサイ、マレーグマ、ユキヒョウ、アムールヒョウ、ユーラシアカワウソに関する実施申請があり、現在進行中。
- (5) 配偶子バンク及び遺伝子資源保存等に関する事項
 - 1) 既存配偶子バンクの維持管理の実施
 - ・指定施設（8施設）からの請求に基づき、液体窒素の充填経費を支出した。
 - 2) 野生動物保全繁殖研究会大会への出席
 - ・仙台で開催された大会へ堀部長が出席した。
 - 3) ZARAS（動物園水族館繁殖研究アライアンス）との協定に基づく事業の実施
 - ・協定に基づく事業調整会議を年度内に開催する予定。
- (6) ワシントン条約緊急保護動物の寄託管理に関する事項 *経済産業省
 - ・事務局対応
- (7) 動物名検討事業に関する事項
 - 1) CPOSの動物リスト未掲載種の和名の検討を行う
 - ・事務局で飼育動物一覧データ作成を実施後、各園館からの指摘に基づき検討を行う予定。
 - 2) CPOSの動物リスト記載済みの種の和名の妥当性について随時、再検討を行う
 - ・「ニシアフリカコガタワニ」を「ニシアフリカコビトワニ」に修正した。
 - ・シセンレッサーパンダの学名（亜種小名）を動物名表記に関する一般原則指定資料（Wilson & Reeder's Mammal Species of the World Third edition）にしたがい変更を行った。
Ailurus fulgens styani → *A. f. refulgens*
 - 3) 動物名検討会議の開催 ※iは上記①、②について。東京開催
 - ・1月に上記①の検討作業のための会議を開催。
 - ・併せて上記②について和名の他学名の見直し等の作業の分担、実施方法等を協議する。
- (8) 関係官公庁との連携協働に関する事項
 - ・環境省と生物多様性保全の推進に関する連絡調整会議を開催

開催日：2023年3月29日

場 所：東京都恩賜上野動物園

出席者：環境省17名（野生生物課14名（課長、課長補佐1名、係長1名、主査1名、希少種保全推進室長6名（室長、室長補佐2名、指定検討第二係長、係員、環境専門員）、外来生物対策室3名（室長、専門官、係長）、鳥獣保護管理室1名（室長補佐）、総務課2名（動物愛護管理室2名（室長補佐、係長）、自然環境計画課1名（生物多様性主流化室 室長））

日動水16名（会長、副会長2名、専務理事、事務局長、教育普及委員会1名（委員長）、生物多様性委員会7名（委員長、副委員長、部長3名、保全戦略部員2名）、オブザーバー3名（会員園館1名、事務局員2名））

議 題： i 生物多様性保全の推進に関する基本協定書に基づく取り組み状況 ii 環境省からの話題提

第1号議案

供iii 日動水からの話題提供iv その他

・8月17日に国際保全事業部主導の経産省との連絡調整会議に出席した。再掲

4. 種保存事業部事業

(1) 種保存事業の実施に関する事項

ZOOMアカウントを取得し、オンラインで会議等を実施

1) 第23回種保存会議開催に向けた準備

(2) 各種作業部会・計画推進会議

1) 小型サル類・キツネザル類合同計画推進会議開催

開催日：2022年5月20日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：9名（霊長類類別事業調整者1名、霊長類類別事業副調整者兼スローロリス属種別計画管理者1名、ワタボウシタマリン種別計画管理者1名、クロシロエリマキキツネザル計画管理者1名、クロキツネザル計画管理者1名、ワオキツネザル個体群管理者1名、キツネザル類専門技術員2名、ロリス・マーモセット類専門技術員1名）

議 題：① 飼育状況・計画報告② 課題（タマリン・マーモセット調査種について、アンケート結果の共有について、繁殖制限について等③ その他

2) オオアリクイ計画推進会議開催

開催日：2022年6月29日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：13名（有袋類その他事業調整者1名、オオアリクイ計画管理者1名、専門技術員3名、オオアリクイ飼育担当者・獣医師7名、研究発表者1名）

議 題：① 各園の飼育状況報告② 国内血統登録状況報告③ 研究発表(中山侑氏(千葉))④ その他

3) キリン計画推進会議開催

開催日：2022年7月11日~12日

場 所：札幌市円山動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：7名（有蹄類事業調整者1名、キリン計画管理者1名、キリン専門技術員5名）

議 題：① 国内キリン状況について情報交換② アミメ系キリンの繁殖計画について③ マサイキリンの今後について④ その他

4) マレーグマ計画推進会議開催

開催日：2022年7月12日

場 所：天王寺動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：3名（食肉類事業調整者（マレーグマ計画管理者）1名、マレーグマ専門技術員2名）

全体会議16名（食肉類事業調整者（マレーグマ計画管理者）1名、マレーグマ専門技術員2名、マレーグマ飼育7園12名、研究発表者1名）

議 題：① 各園の飼育状況② 国内のマレーグマの現状と繁殖計画③ マレーグマの栄養とアンケート調査結果の報告④ 新施設紹介・沖縄こどもの国⑤ 高齢メガネグマの飼育管理⑥ メガネグマの採血、歯磨きトレーニング実演⑦ 繁殖障害を疑うマレーグマのペアに対する取り組み⑧ 新施設紹介・徳山動物園⑨ マレーグマの採血、筋肉注射トレーニング実演

第1号議案

⑩ その他

5) コアラ計画推進会議開催

開催日：2022年7月13日~14日

場 所：鹿児島市平川動物公園

出席者：8名（有袋類その他事業調整者1名、コアラ計画管理者1名、コアラ専門技術員6名）

全体会議25名（有袋類その他事業調整者1名、コアラ計画管理者1名、コアラ専門技術員6名、コアラ飼育園館関係者16名、研究発表者1名）

議 題：① 個体群管理目標について② 繁殖計画について③ その他

全体会議① 国内血統登録状況報告② 飼育状況報告、研究発表③ アンケート報告④ 特別講演(大和修氏(鹿児島大学))⑤ 全体討議⑥ 飼育施設、圃場見学

6) ツシマヤマネコ計画推進会議開催

開催日：2022年7月15日

場 所：対馬地球大学（Web会議システムも併用）

出席者：37名（生物多様性委員長1名、ツシマヤマネコ計画管理者1名、保全戦略部長1名、保全戦略部員1名、専門技術員5名、飼育園館職員15名、研究協力者3名、環境省職員6名、オブザーバー4名）

議 題：① 令和4年度ツシマヤマネコ飼育下繁殖及び飼育管理に関する検討業務体制について② ツシマヤマネコ飼育下個体群（野生復帰対象外）管理ハンドブックの改訂について③ 令和4年~5年ツシマヤマネコ飼育下繁殖計画（種管理計画）について④ ツシマヤマネコの遺伝的疾患の原因遺伝子特定のためのDNA解析(DNA抽出及び全ゲノム分析等)について⑤ 死亡事例報告⑥その他

7) アジアゾウ計画推進会議開催

開催日：2022年7月15日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：15名（有蹄類事業調整者1名、アジアゾウ計画管理者1名、アジアゾウ専門技術員5名、アフリカゾウ個体群管理者1名、アフリカゾウ飼育園代表者4名、オブザーバー3名）

議 題：① 日動水生物多様性委員会報告② 国内飼育状況③ 2021年管理計画の経過報告④ 2022年度計画推進会議の構成他⑤ 2022年度管理計画の策定について⑥ その他

8) チンパンジー計画推進会議開催

開催日：2022年9月12日14:00~17:00、13日9:00~16:00

場 所：わんぱーくこうちアニマルランド

出席者：8名（霊長類事業調整者1名、チンパンジー計画管理者1名、チンパンジー専門技術員6名）

議 題：① 令和4年度繁殖計画進捗状況② 令和5年度移動繁殖計画(③ チンパンジー飼育施設視察及び飼育担当者との情報交換④ その他

9) アムールトラ計画推進会議開催

日 時：2022年9月16日

第1号議案

場 所：秋田市大森山動物園

出席者：8名（アムールトラ計画管理者1名、アムールトラ専門技術員6名、オブザーバー1名
（会員園1園））

議 題：(1)国内のアムールトラ飼育状況(2)令和4年移動推奨案について(3)その他

10) ニホンコウノトリ計画推進会議開催

日 時：2022年9月29日

場 所：横浜市立よこはま動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：19名（ニホンコウノトリ計画管理者1名、ニホンコウノトリ飼育園館職員12園館18名
（うち非加盟園館5園館7名））

議 題：(1)令和4年生息域外個体群の繁殖等の報告(2)令和5年移動計画案(3)その他

11) ライチョウ計画推進会議開催

開催日：2022年10月3日

場 所：東京都恩賜上野動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：16名（委員長、保全戦略部2名（部長、部員1名）、コウノトリ・キジ・ツル類事業調整者1名、ライチョウ計画管理者1名、ライチョウ専門技術員7名、ライチョウ飼育園館4名）

議 題：①飼育ハンドブック改正について②飼育繁殖技術開発に関する検討③普及啓発

12) マンドリル計画推進会議開催

開催日：2022年10月4日

場 所：豊橋総合動植物公園（オンライン会議システムも併用）

出席者：6名（霊長類事業副調整者2名、マンドリル計画管理者1名、マンドリル専門技術員3名）

議 題：①移動計画の実施状況と今後の予定②個体群管理研修会の報告③配偶子バンクの実施について④不可逆的な不妊治療の実施について⑤その他⑥ 施設見学

13) 魚類作業部会開催

開催日：2022年10月5日

場 所：滋賀県立琵琶湖博物館

出席者：15名（魚類事業調整者1名（計画管理者兼務あり）、魚類事業副調整者1名（計画管理者兼務あり）、魚類計画管理者10名（1名計画管理者及び維持種担当者兼務あり）、魚類維持種担当者1名、オブザーバー2名（会員園館2園館））

議 題：①種別中間報告及び行動計画について②井の頭自然文化園でのミヤコタナゴ奇形発生と新たな保存系統の検討③管理計画書について④管理種の移動手続きについて⑤魚類の和名基準について⑥対象種の見直しについて⑦次年度種保存会議のポスター発表⑧希少魚類種保存活動30周年記念事業について⑨その他

14) ユーラシアカワウソ計画推進会議開催

開催日：2022年10月12日～13日

場 所：宮崎市フェニックス自然動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：午後全体会47名（ユーラシアカワウソ計画管理者1名、ユーラシアカワウソ専門技術員5名、カワウソ類飼育園館職員28園館40名、研究協力者1名）

第1号議案

午前専門会議5名（ユーラシアカワウソ計画管理者1名、ユーラシアカワウソ専門技術員4名）

議 題：①午後 (1)国内ユーラシアカワウソ飼育の現状と課題(2)ユーラシアカワウソの泌尿器疾患に関わる研究・栄養評価報告(3)演題発表（4題）(4)各園報告
②午前 (1)個体移動計画(2)繁殖推進についての検討(3)ZARAS 連携(4)種保存事業申請(5)繁殖制限について確認(6)共同研究について(7)生化学データ収集について(8)ハンドブック改定について(9)その他

15) スマトラトラ計画推進会議開催

開催日：2022年10月17日

場 所：仙台市八木山動物公園

出席者：8名（食肉類事業副調整者1名、スマトラトラ計画管理者1名、スマトラトラ専門技術員4名、オブザーバー2名（アムールトラ計画管理者1名、会員園館1名））

議 題：① 各飼育園の現状報告② 今後の繁殖計画と具体的な取り組みについて③ 第5回 GSMP 会議報告④ その他

16) テナガザル類計画推進会議開催

開催日：2022年10月18日

場 所：宮崎市フェニックス自然動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：10名（霊長類事業調整者1名、霊長類事業副調整者2名、シロテテナガザル計画管理者1名、フクロテナガザル計画管理者1名、テナガザル類専門技術員4名、オブザーバー1名（会員園館））

議 題：①飼育状況報告②令和3年度の移動繁殖計画の振り返り③令和4年以降の移動繁殖計画について④飼育ハンドブックの作成について⑤その他

17) 霊長類作業部会開催

日 時：2022年10月19日

場 所：宮崎市フェニックス自然動物園（オンライン会議システムも併用）

出席者：22名（霊長類事業調整者1名、霊長類事業副調整者3名(1名計画管理者及び個体群管理者兼務あり)、霊長類計画管理者11名(1名計画管理者兼務あり)、霊長類個体群管理者1名、霊長類維持種担当者3名（1名維持種担当者兼務あり）、霊長類専門技術員2名、オブザーバー1名（会員園館））

議 題：① 各種報告② ハンドブック作成について③ その他

18) チーター計画推進会議開催

開催日：2022年10月19日～20日

場 所：広島市安佐動物公園（オンライン会議システムも併用）

出席者：①5名（食肉類事業副調整者1名（計画管理者兼務あり）、チーター専門技術員4名）
②全体会33名（食肉類事業副調整者1名（計画管理者兼務あり）、チーター専門技術員4名、チーター飼育園館職員13名、園館26名、生物多様性委員会外部委員1名、招聘講師1名）

議 題：①(1)チーター移動計画案について(2)来年度種管理計画策定について

②(1)2022年度国内血統登録調査結果報告(2)輸入からこれまでの飼育状況まとめ報

第1号議案

告(千葉)(3)1年間の病性鑑定について、その他情報提供(岡山理科大学、宇根有美教授)(4)ZARASの体制について(岐阜大学、楠田哲士准教授)(5)猫コロナウイルスの状況報告(6)各園館近況報告(7)その他

19) ホッキョクグマ計画推進会議開催

開催日：2022年10月21日～22日

場 所：愛媛県立とべ動物園

出席者：①7名(食肉類事業副調整者1名、ホッキョクグマ計画管理者1名、ホッキョクグマ専門技術員5名)

②全体会24名(食肉類事業副調整者1名、ホッキョクグマ計画管理者1名、ホッキョクグマ専門技術員5名、ホッキョクグマ飼育園館職員11名、園館17名、生物多様性委員会外部委員1名)

議 題：①今年度の繁殖状況などのまとめ②新規繁殖計画について③採精及び人工授精について④各園館の飼育状況について⑤ZARASや繁殖技術の応用に関して(岐阜大学、楠田哲士准教授)⑥その他

20) スナメリ計画推進会議開催

開催日：2022年11月1日～2日

場 所：マリンワールド海の中道

出席者：8名(海獣類事業調整者1名、スナメリ計画管理者1名、スナメリ専門技術員4名、オブザーバー2名(非会員園館2園館))

議 題：①国内におけるスナメリの飼育状況および今後について②各園館からの報告③その他

21) シシオザル計画推進会議開催

開催日：2022年11月8日

場 所：天王寺動物園(オンライン会議システムも併用)

出席者：16名(霊長類事業調整者1名、霊長類事業副調整者1名、シシオザル計画管理者1名、シシオザル専門技術員4名、オブザーバー9名(会員園5園、非会員園1園))

議 題：①飼育状況報告②2021年血統登録調査時の調査結果③てんかん発作の遺伝性に関する調査④単独飼育の解消方法とバッチャー群の形成⑤その他

22) バンドウイルカ、カマイルカ合同計画推進会議開催

開催日：2022年11月13日～14日

場 所：東京海洋大学 品川キャンパス(オンライン会議システムも併用)

出席者：51名(海獣類事業調整者1名、バンドウイルカ計画管理者1名、カマイルカ計画管理者1名、バンドウイルカ専門技術員3名、カマイルカ専門技術員1名、生物多様性委員会外部委員1名、総務委員会水族館部5名(部長、部員4名)、鯨類飼育園館職員20名、園館38名)

議 題：①JAZAイルカ関連事業について②共同管理について③各種管理計画の進捗について④今年度事業計画について⑤その他

23) アビシニアコロブス計画推進会議開催

開催日：2022年11月16日

第1号議案

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：7名（霊長類事業調整者1名、霊長類事業副調整者2名、アビシニアコロブス計画管理者1名、アビシニアコロブス専門技術員3名）

議 題：① 飼育状況及び個体群の状況に関する報告② 個体群管理における問題点の共有と今後の管理方針の検討③ その他

24) 食肉類作業部会開催

開催日：2022年11月16日~17日

場 所：福岡市動物園

出席者：18名（生物多様性委員長、食肉類事業調整者1名（計画管理者兼務あり）、食肉類事業副調整者1名（個体群管理者兼務あり）、食肉類計画管理者9名（個体群管理者兼務あり）、食肉類個体群管理者5名、食肉類維持種担当者1名）

議 題：① JCP 担当者変更② 三部合同会議報告③ 各種別報告④ 情報提供⑤ その他

25) 食肉類作業部会個体群管理ソフト(PMx)勉強会開催

開催日：2022年11月17日~18日

場 所：福岡市動物園

出席者：15名（食肉類事業調整者1名（計画管理者兼務あり）、食肉類事業副調整者1名（個体群管理者兼務あり）、食肉類計画管理者9名（個体群管理者兼務あり）、食肉類個体群管理者3名、海獣類計画管理者1名）

議 題：① 個体群管理について② ZIMS for studbooks の操作方法③ 「現状分析(人口学・遺伝学)」と「将来予測」④ 「管理方針(目標設定)」の策定⑤ 「管理(実行)計画」の策定⑥ その他

26) マレーバク計画推進会議開催

開催日：2022年11月27日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：25名（有蹄類事業調整者1名、マレーバク計画管理者1名、マレーバク専門技術員6名、マレーバク飼育園館職員12名、園館17名）

議 題：① 国内マレーバクの現状と今後の繁殖計画について② 海外からの新規個体導入について③ その他

27) ペンギン類作業部会開催

開催日：2022年12月1日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：13名（ペンギン類事業調整者1名、ペンギン類計画管理者2名（1名個体群管理者兼務あり）、ペンギン類個体群管理者6名、ペンギン類専門技術員4名）

議 題：① 各種報告② JCP の見直しについて③ 飼育ガイドラインの改訂について④ 移動確認書の発行について⑤ 教育普及活動の方向性について⑥ 個体群分析データの共有について⑦ 余剰個体の取り扱いについて⑧ 施設の収容可能個体数に対する種の優先度について⑨ PMx解析データの活用について⑩ マゼランペンギン・ケープペンギン海外搬入個体の扱いについて⑪ その他

28) 両生爬虫類作業部会開催

第1号議案

開催日：2022年12月2日

場 所：日立市かみね動物園

出席者：17名（両生爬虫類事業調整者1名、両生爬虫類計画管理者9名、両生爬虫類個体群管理者4名、両生爬虫類専門技術員3名）

議 題：① 種別計画管理者・個体群管理者報告② その他

29) 第2回オガサワラカワラヒワ検討会開催

開催日：2022年12月3日 13:00~16:00

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：14名（小型鳥類事業調整者1名、小型鳥類計画管理者2名、小型鳥類個体群管理者2名、オガサワラカワラヒワ域外保全協力園館関係職員4園館8名、オブザーバー1名(外部団体)）

議 題：① 母島オガサワラカワラヒワ保護増殖施設設計に係る意見交換② 亜種飼育による飼育技術確立③ 飼育ガイドライン作成に関する整理④ 今後の進め方について

30) 小型鳥類作業部会開催

開催日：2023年2月10日

場 所：東京都恩賜上野動物園

出席者：12名（小型鳥類事業調整者1名、小型鳥類計画管理者5名、小型鳥類個体群管理者5名、オブザーバー1名（会員園館））

議 題：① 管理種の現状報告② 登録種の血統登録現状について③ 維持種および調査種における JCP 対象種の見直しについて④ 担当者の変更について⑤ 飼育ガイドラインについて⑥ その他

31) ニホンイヌワシ計画推進会議開催

開催日：2023年2月10日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：13名（ニホンイヌワシ計画管理者1名、ニホンイヌワシ専門技術員5名、ニホンイヌワシ飼育園館担当者5園館7名）

議 題：① 各園の状況について② 2022年管理計画の結果について③ 2023年管理計画について④ その他

32) 小型サル類・キツネザル類合同計画推進会議開催

開催日：2023年2月20日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：6名（霊長類事業副調整者1名(計画管理者兼務あり)、クロシロエリマキキツネザル計画管理者1名、クロキツネザル計画管理者1名、キツネザル類専門技術員2名、ロリス・マーモセット類専門技術員1名）

議 題：① 各種飼育状況について② 各種計画報告について③ その他

33) サイ3種合同計画推進会議開催

開催日：2023年2月21日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

第1号議案

出席者：16名（有蹄類事業調整者1名、有蹄類計画管理者3名、有蹄類専門技術員11名、
生物多様性委員会外部委員1名）

議 題：① 前回会議の課題とその後の進捗状況、繁殖計画について② 講演：飼育下ミナ
ミシロサイにおける黄体ホルモン製剤と GnRH 製剤の投与による発情・排卵誘起
（岐阜大学 楠田哲士准教授）③ 各種計画推進会議について④ その他

34) オランウータン計画推進会議開催

開催日：2023年2月27日~28日

場 所：名古屋市東山動物園

出席者：8名（霊長類事業調整者1名、霊長類事業副調整者1名、オランウータン計画管
理者1名、オランウータン専門技術員4名、オブザーバー1名（会員園館））

議 題：① 飼育状況報告② 移動繁殖計画について③ その他

35) アムールヒョウ計画推進会議開催

開催日：2023年3月8日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：11名（食肉類事業副調整者1名、アムールヒョウ計画管理者1名、アムールヒ
ョウ専門技術員4名、オブザーバー5名（会員園館4園館））

議 題：① アムールヒョウ繁殖計画について② 東武動物公園における人工授精実施につ
いて③ その他

36) 中型サル類合同計画推進会議開催

開催日：2023年3月28日

場 所：オンライン会議システムを利用して実施

出席者：12名（霊長類事業調整者1名、霊長類事業副調整者2名、霊長類計画管理者6
名、霊長類個体群管理者1名、霊長類維持種担当者2名）

議 題：① 中型サル類の飼育スペースについて② その他

VI 地域委員会・ブロック事業

地域委員会は、協会の全国地域5ブロックを統括、指導・調整する組織で、地域園館の活性化、人材育
成、地域での協会事業など次の事業を実施した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長1名 副委員長1名 委員3名（ブロック代表理事）

(2) 委員会の開催

1) 第1回地域委員会

開催日：2022年9月27日 開催方法：ウェブ会議

出席者：委員長、副委員長、ブロック代表理事3名、専務理事、事務局長

議 題：① 各ブロックの会議・事業の進捗状況について（2022年度上半期）

② 理事会・執行委員会報告 ③ その他

2) 第2回地域委員会

開催日：2023年3月16日 開催方法：ウェブ会議

第1号議案

出席者：委員長、副委員長、ブロック代表理事3名、専務理事、事務局長 計7名

議 題：① 各ブロックの会議・事業の進捗状況について（2022年度下半期）

② 理事会・執行委員会報告

③ その他

2. 事業の実施

(1) 地域園館の活性化に関する事項

動物愛護精神の普及啓発及び地域との交流を図るため、次の事業を実施した。

1) 幼児・児童動物画コンクール(北海道8園館、福岡県6園館)

2) 写生大会(中部ブロック6園館)

(2) 地域での協会事業に関する事項

会員園館職員の人材育成を図るため次の事業を実施した。

1) 事務主任者会議

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	弥生	2022/10/18	36園館 51名	対面・ウェブ併用
中 部	浜松	2023/01/26	14園館 19名	ウェブ会議
近 畿	須磨	2022/10/28	17園館 26名	ウェブ会議
中国四国	池田	2022/07/29	14園館 20名	ウェブ会議
九州沖縄	フェニ	2023/02/15	17園館 20名	ウェブ会議

2) 動物園水族館飼育係研修会

① 動物園飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	羽村	2023/03/16	22園館 57名	ウェブ会議
中 部	楽寿園	2022/08/10	17園館 27名	ウェブ会議
	東山	2022/12/14-15	18園館 21名	対面
近 畿	京都	2022/06/29	11園館 23名	〃
中国四国	のいち	2023/02/16-17	9園館 25名	〃
九州沖縄 (水族館と合同)	海中動	2023/02/08	9園館 20名	〃

② 水族館飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	すみだ	2022/03/15	16園館 32名	対面
中 部	近畿ブロックと合同開催			
近 畿	城崎	2022/06/16-17	14園館 26名	対面
中国四国	お魚館	2023/02/22	5園館 9名	ウェブ会議
九州沖縄 (動物園と合同)	海中動	2023/02/08	9園館 20名	対面

3. ブロック園館長会議

次のブロック園館長会議を開催し、ブロック内事業を実施するため、議題に基づく意見交換、問題解決、意思決定等を行った。

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	上越	2022/04/13	55園館 68名	ウェブ会議

第1号議案

〃	市川	2022/10/17	55 園館 67 名	ウェブ会議
中 部	碧南	2022/04/21	20 園館 24 名	ウェブ会議
〃	須坂	2022/11/02	19 園館 24 名	ウェブ会議
近 畿	鳥羽	2022/04/07-08	19 園館 26 名	対面
〃	神戸	2022/10/24-25	21 園館 26 名	対面
中国四国	とべ	2022/04/18	16 園館 20 名	ウェブ会議
〃	桂浜	2022/10/20	13 園館 17 名	対面
九州沖縄	名護	2022/04/14	18 園館 21 名	ウェブ会議
〃	九十九	2022/10/27	18 園館 23 名	ウェブ会議

Ⅶ 事務局事業

協会事務局は刊行物、CITES 保護、野生動物保護募金など次の事業を実施した。

1. 執行体制

専務理事 1 名、事務局長 1 名、職員 5 名

2. 事業の実施

(1) 統計、刊行物に関する事項

1) 年報の発行

動物園水族館に関する管理者・職員数・飼育動物数・入園館者数・経費・繁殖動物などを調査し、会員園館及び関係機関に配付するとともに、一般にも有償頒布する。

※2022 年 9 月発行 400 部

2) 事業概要の発行

協会の概要・会員・役員・各種会議・事業など集約し、会員園館に頒布するとともに関係機関にも配付する。

※2022 年 8 月発行 350 部

3) 月報の作成

会員園館の事業報告、各種会議報告、事務局報告などを毎月作成し、会員用ホームページに掲載するとともに、維持会員にもメール配信し、情報提供を行った。

4) 飼育ハンドブックの増刷等（改訂版 新・飼育ハンドブック）

動物園編第 1 集～第 5 集 各 3,000 部 水族館編第 1 集～第 5 集 各 2,000 部

5) 動物園水族館雑誌の発行

動物園水族館雑誌 64 巻第 1 号～第 4 号 各 550 部

(2) 会費に関する事項

次の関係団体に加入し、総会へ出席するなど情報交換を行うとともに、種保存など連携を図った。

1) 日本博物館協会（30 千円）

2) 国際自然保護連合(IUCN)（160 千円）

3) 国際自然連合日本委員会(IUCN-J)（30 千円）

4) 世界動物園水族館協会(WAZA)（344 千円）

5) 日本ツル・コウノトリネットワーク（2 千円）

6) 野生動物保全繁殖研究会(10 千円) 新規

(3) 野生動物保護募金に関する事項

第1号議案

野生動物の保護活動に積極的に取り組むため会員園館に募金箱を設置し、来園者などから広く寄付金を募り、野生動物の保護活動事業に助成した。

2022年度募金額 136件 9,723千円

1) 野生動物保護募金事業助成 9件 3,970千円

(4) 総会・理事会等に関する事項

1) 総会

開催日：2022年5月26日～27日 開催場所：ホテルエピナール那須（那須どうぶつ王国；ウェブ併用）

2) 理事会・執行理事会・三役会議

① 理事会 6回開催

② 三役会議 11回開催

(5) 監査に関する事項

2022年度の事業報告及び決算報告について、2023年5月2日に監事による監査の実施

(6) 新入会員調査に関する事項

2022年度新入会員は2園館（AQUARIUM×ART átoa、SEA LIFE 名古屋）

(7) 法人管理運営に関する事項

会議経費、人件費等執行した。

VIII 公益目的・法人の共通事業

職員給与、役員報酬、修繕・委託費、事務所費等を執行した。

IX 決算概要(正味財産増減計算書内枠書抜粋)

(単位：円)

科目	公益目的会計	法人会計	合計
I 一般正味財産			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
基本財産運用益	63	27	90
特定資産運用益	64,616	90	64,706
受取入会金	150,000	350,000	500,000
受取会費	12,322,500	28,752,500	41,075,000
事業収益	39,523,116	0	39,523,116
受取補助金等	28,886,158	0	28,886,158
受取負担金	4,442,000	1,010,000	5,452,000
受取寄付金	5,001,595	138,350	5,139,945
雑収益	1,124,856	173,230	1,298,086
経常収益計	91,514,904	30,424,197	121,939,101
2) 経常費用			
事業費	108,215,708	0	108,215,708

第1号議案

管理費	0	19,976,050	19,976,050
経常費用計	108,215,708	19,976,050	128,191,758
当期経常増減額	△16,700,804	10,448,147	△6,252,657
2. 経常外増減の部			
1) 経常外収益	0	0	0
2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	7,799,430	△7,799,430	0
当期一般正味財産増減額	△8,901,374	2,648,717	△6,252,657
一般正味財産期首残高	26,308,941	51,999,271	78,308,212
一般正味財産期末残高	17,407,567	54,647,988	72,055,555
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	0	0	0
受取寄付金	10,595,001	0	10,595,001
助成金返還額	307,761	0	307,761
特定資産運用益	401	0	401
一般正味財産への振替額	△4,927,540	0	△4,927,540
当期指定正味財産増減額	5,975,623	0	5,975,623
指定正味財産期首残高	151,873,998	0	151,873,998
指定正味財産期末残高	157,849,621	0	157,849,621
III 正味財産期末残高	175,257,188	54,647,988	229,905,176

第4章 事業の課題

2022年度の事業計画に基づき執行委員会及び協会事務局として事業を実施してきたが、2023度からの主な検討課題は次のとおりである。

I 総務委員会

1. 倫理福祉部

- (1) 動物福祉評価の適切な実施
- (2) 動物福祉規程および各種規定制定とあわせた定款・諸規定の改正

2. 情報システム運営部

- (1) 公開ホームページ：いきもの学びネットの利用促進、飼育動物検索の情報更新(CPOSと連携)
- (2) 会員ホームページ：会員の利活用促進

3. 栄養部

- (1) 生餌の栄養学的価値の検討（動物福祉評価に関連）
- (2) 飼料の栄養成分に関するデータベース化
- (3) 栄養関係の書籍および論文のデータベース化

4. 水族館部

- (1) 水族館部繁殖支援事業の推進

第1号議案

II 教育普及委員会

1. 教育研修部

- (1) 飼育技師資格認定における試験問題の精査
- (2) 飼育技師上級試験の評価
- (3) 繁殖関係資料の編集継続
- (4) ブロック実施の研修会に関する情報共有

2. 普及啓発部

- (1) 「いきもの学びねっと」の普及（各園館へ情報掲載について広報し、掲載数を増やす）
- (2) JAZA ホームページのアクセス数や利用率などの確認と利用推進
- (3) 生物多様性委員会との環境省関連教育普及事業での協働

3. 学術研究部

- (1) 調査研究委員会設立に伴う本委員会からの移行
- (2) 動物園水族館における研究活動支援と推進
- (3) 動物園水族館雑誌への投稿論文数増加のための積極的活動
- (4) 古賀賞申請への呼びかけ

III 安全対策委員会

1. 会員園館における安全対策、災害対策や感染症対策を進めるため、ガイドライン等の検討とともに、その実現方法について協議する。
2. 安全対策委員会並びに各部会において、各事業の基本的な情報ならびに最新の情報を共有する体制の構築を図り、事故や災害の発生に向けた着実な対策等事業の実施に努める。

IV 生物多様性委員会

1. 国際保全事業部

- (1) COVID-19により国内外関係組織との連携や飼育個体の移動が停滞している。改善の兆しがみられるが、予断を許さない状況である。
- (2) 経済産業省との連絡会議を定例化していく必要がある。
- (3) WAZAや海外の地域協会との連携が求められる事業は拡大、迅速化しつつあるため、それに対応できる体制や対処法を構築していく必要がある。
- (4) 事業は増加しており、部員に欠員も生じているため、さらなる部員の確保が必要である。

2. 保全戦略部

- (1) 環境省の委託で実施している業務について、対象種の飼育園館が増えるに従い、会議への出席者が増えており、会議の日程調整や会議の運営を検討する必要がある。
- (2) ZARAS（動物園水族館繁殖研究アライアンス）との協定締結までに紆余曲折があったために事業が停滞している。

3. 種保存事業部

(1) JCP の推進

① 種管理計画の評価

管理種において作成している種管理計画において、進捗が見られないものがある

② 海外との連携

言語の問題で連携が滞る種がある

第1号議案

③ 検疫

検疫施設の問題で、海外からの導入が進められない種がある

④ 非会員施設との連携

非会員施設が一方的に JCP に協力するだけでなく、計画段階からの連携の検討

V 地域委員会

1. 各ブロックの更なる情報共有を図り、課題の把握・解決に努める。

VI 協会事務局

1. 事務局内作業の効率化、法律が求める保存文書の電子化を推進する